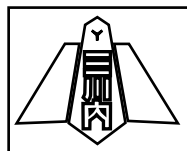


学校だより 令和5年度版

あったか三川内



令和5年 4月19日
佐世保市立三川内小学校
校長 磯平 正敏

学校教育目標：「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」
郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、
心豊かで元気のある子どもを育成する。

4月13日に行われましたPTA総会では、お忙しい中、多くの保護者の方にご出席いただき、誠にありがとうございました。PTAも新体制となりスタートしました。今年度も、ご協力の程よろしく願いいたします。遅くなりましたが、総会でお話した、学校経営方針をお知らせします。

《学校経営方針説明（抜粋）》

今年度の学校経営方針をご説明します。（学校説明資料をもとに）

本校の学校教育目標は、「夢に向かい 自ら学び、考え、行動する 心豊かな子どもの育成」～郷土「三川内」に誇りをもち、たくましく未来を切り拓いていく、心豊かで元気のある子どもを育成する～としています。子どもの将来を見据えて、子供の自尊感情を高め、どのような状況におかれても、主体的に物事を考え、自己実現への努力やたくましく生き抜く力を身に付けさせていきたいと考えています。子どもたちが生き抜くこれからの社会は、急速な情報化社会やAI技術の進歩による社会構造が変化し、予測困難な時代になっていくと言われています。ですから、【生きて働く知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【学びに向かう力・人間性等の涵養】の3つの柱を意識した教育課程を実践し、子供たちに確かな力を身に付けさせることが大切になってきます。本校の子どもたちは、「あったか三川内」の言葉通り、とても優しく素直な心をもっていますが、反面、失敗を恐れず自分から進んで考え、行動するという点では、消極的な部分も見受けられます。ですから受け身ではなく何事も自分から進んで挑戦し、あきらめず粘り強く取り組むことで「できた」ことを増やし、自分に自信をもち、生き生きと学校生活を送る子どもに育てたいと思っています。

具体的には、【重点努力事項】の『教科指導』においては、基礎学力の定着およびICT教育の推進を目標に掲げ、特に今年度も「算数科」の学習を研究の土台として、子どもたちの「分かる」「できる」の喜びにつながる授業づくりに挑戦し、子どもたちの学力向上を目指します。長崎県は全国的に見て家庭学習の時間や習慣化が低いというデータが出ています。学力向上においては、ご家庭の協力が必要です。そこで、「家庭学習のすすめ」を年度当初に配付しますので、「家庭学習の時間の確保と習慣化」にご協力ください。

また、『生活指導』においては、履物を揃える。学習用具を揃える。廊下歩行。などのきまりを守る。友達と仲良く過ごすこと。あったかあいさつができること。など、身の回りや人として当たり前なことを、自分の力できちんとできる人に育て、自立して生活していくことができるように指導・支援をまいります。子どもの笑顔が輝き、子どもが生き生きと活動する躍動感のある学校づくりを目指して、家庭や地域と連携を図りながら、努力・精進して参ります。

「子どもの輝く笑顔」や「生き生きとした姿」を作り出すためには、ご家庭の協力が欠かせません。ご家庭では、①早寝・早起き・朝ごはん ②家庭学習の時間の確保や習慣化 ③忘れ物0の3点について特にご指導・ご協力をお願いします。

※この後、資料P11にある登校時刻（7：45～8：00）の確認と、車の乗り入れ時刻は、この時間帯を避けてほしいこと（門の所に看板を設置します）。事故防止のために、校内の駐車場では一方通行での運転をしてほしいこと。車で迎えの場合は、児童玄関までお子様を迎えに来ていただくこと（児童が駐車場を横断し、車の所まで一人で行かないこと）。子どもの心と体を鍛えるため、できるだけ徒歩での登下校を奨励。放課後（学童等）の迎えの車が、百年橋付近からスピードを出して校内に入ってくるので徐行運転を（地域住民の方からの連絡）。などを確認させていただきました。